

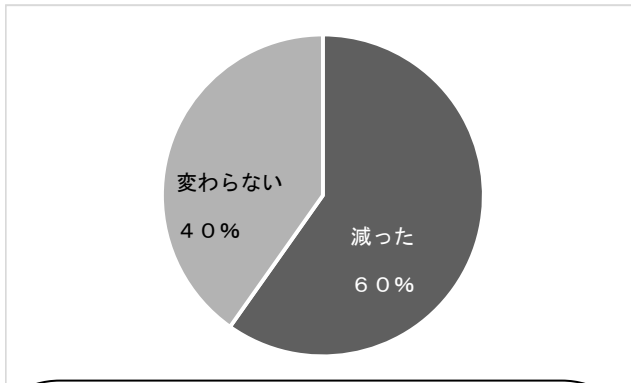
ごみ袋使用状況アンケート

鎌倉市は4月からごみ有料化を実施し7月現在14%の削減と発表しています。鎌倉リサイクル推進会議では、アンケートを取り、有料袋の使用枚数、ごみを排出する量の変化、減らすためにしていること、など聞いてみました。(有効回答数 145)

有料袋になってごみを出す量に変化はありましたか？

有料袋は1か月にどのくらい消費しますか？

(枚)



世帯	袋	S (5ℓ)	M (10ℓ)	L (20ℓ)	LL (40ℓ)	最高使用枚数	最低
単身		3.9	1.6	1.4	0	L15	S 0.3
2人		2.9	4.2	1.3	0.1	S 5,M 20,L 10	M 2
3人		2.5	3.2	2	0	S8,M1,L1,LL3	L 1
4人以上		2.4	2.3	1.7	1.2	LL 20	S 4,M 1
不明		2.1	1.6	1.9	0.2	S 1	L 7,LL3
全体		2.8	2.7	1.6	0.2	LL 20	S 0.3

工夫していること

- * 水切り * 乾燥させている * 必要以上を買わない
- * 庭に埋める * 分別の徹底 * 食べ物は使い切る * 使い捨てのものは買わない * 油污れに布は使わずトイレットペーパーで水に流す * プラごみはきれいに洗って資源ごみに出す
- * 生ごみ処理機を使い始めた * リユースネットやリサイクルショップを利用 * エコバッグを使用 * 段ボールで堆肥に
- * 野菜は皮まで調理、余ったら冷凍 * 新聞紙に包んで出す

ご意見・質問

- * ゴミ袋が高すぎる * 戸別収集は税金の無駄使い。 * 燃えないごみの分類がまだにわからない * ゴミ屋敷が増えないか * ゴミ処理施設はどうなったの * 有料化の収支を明らかにしてほしい * 思いつきで振り回されている。5年後、10年後をみすえてほしい * 税金払っているのに有料化は納得いかない * 有料化は燃やすごみだけにしてほしい * 高齢者には分別は難しい。ふれあい収集以外にも対策を

名越クリーンセンターの収集担当職員に聞きました！

2015年9月4日(金) 於 クリーンセンター会議室 市職員6名



* 有料袋収集が導入されて収集量が削減されたというのですが、実感としてどうですか

- 「かなり減っているように見受けられます。」
- 「2回出していたのを1回にしているとか。」
- 「持ち上げると指が痛いほどずっしり重く、詰め込んで、袋を節約されているようですね」

* 他のごみ、特に容器包装プラスチックが1.4倍位増えていると聞きましたが？

- 「ネットボックス使用の収集ステーションでは、ふたが閉め切れないとの声も聞かれます。」
- 「今まで、燃やすごみとして出されていたプラ類がそちらに回っているようです。」
- 「有料化に伴う削減目標は達成のようですが、ごみ全体量の削減となるとどうでしょうね。」

* 出し方のマナーや、ごみ質はどうですか

- 「有料袋になって、中身も見えにくく、不適切な混入もあります。」
- 「地区にもよりますね、戸別収集の際は気付いたその都度、そのお宅に説明して処置してもらうこともあります。」

* その他になにか困っていることはありませんか

- 「空き地へ、不法投棄が見られますね。」
- 「観光客等のポイ捨ても少なくないようです。」
- 「道端のごみや、収集ステーションの放置ごみが、以前より増えています。」
- 「ごみの量は週の前半は多く後半は少ない目、天候でも変わります。ライフスタイルに合わせた適切な袋の選択をお勧めします。」
- 「有料袋を買っても何を入れてもいいわけではありません。今まで同様に適切な分別や環境への配慮もどうぞよろしくお願いします。」

市民に負担を強いる有料化の導入で燃やすごみ削減は成果を出しているようですが、市民の、生活を防衛する行動が逆に環境負担を増すようになっては困ります。燃やすごみが減って当面の危機は回避できたようでも、排出量全体の削減が成らなければ、今でも年間33億円あまりもかかるリサイクル費は、市の財政を蝕んでいくばかり。大量消費文化や、ごみを産み出す仕組みを見直し、* 拡大生産者責任を問うことも大切な課題ではないでしょうか。

* 製品の製造者が流通の最初から最後まで(製造・販売・回収処理)を通じて負うべき責任のこと

取材・作成 NPO法人 鎌倉リサイクル推進会議 環境部会

リサイクル施設見学会

8月末に笹田の鎌倉市資源回収協同組合（エコステーション）、笹田リサイクルセンターの見学会を実施しました。資源回収協同組合では家庭から出る紙類、布類の回収及び中間処理を、笹田リサイクルセンターでは、缶・ビン・ミックスペーパーの中間処理をしています。

参加者の声を聞いてみました。

分別の仕方を今一度確認



高く積まれた紙類、手作業で分別も



リサイクルセンターは環境に配慮した設備



「手作業で分別している様子をじかに見て驚きました。頭がさがります」
「収集後のことがよくわかりました」

「今まで思い違いをしていました。ミックスでなく雑誌に入れた方がよいものが案外あるのですね」
「リサイクルには手間暇も費用もかかることがわかりました」

「作業をされている方の動きの速さにおどろきました」
「施設内がとても整理整頓されてよい印象でした」
「太陽光を利用したり、雨水を利用したり環境を考えている施設ですね」

～参加者からの疑問・提案～

- * ガラスや陶器で割れていれば危険物で無料で回収、割れていないと不燃物で有料袋に入れるとはね～。
- * ごみ有料化の効果ってどうなの？減ったというけどその分はどこへ行ったの？
- * 容器包装プラスチックを有料袋に入れちゃうと、その袋は燃やすごみなんだって！
- * 燃やすごみを減らすはずの有料袋に不燃物も入れるって変じゃない？
- * 市から配布される「選別のしおり」がわかりにくい。今回初めて分かったこともある。
- * なぜこういう仕分けになるのか、といった分類の意味、理由も知らせてほしい。
- * プリント基板、消毒剤、製品プラスチックの処分方法がわからない。
- * ミックスペーパーだと思っていたものが「燃やすごみ」「段ボール」「雑誌」になることにびっくり。
- * 山崎地区へのごみ焼却場設置は、近くに学校や住居があるので考え直してほしい。
- * 資源物を収集後どうするかということがわかって、ごみ削減にもっとがんばろうと思った。
- * こういう企画でたくさんの人に見学してほしい。自治会でも見学したい。

NPO 法人 鎌倉リサイクル推進会議の活動紹介と問合せ先

環境問題をはじめ、Reduce（発生抑制）・Reuse（再使用）・Recycle（再生利用）などについて話し合い、実践する「市民運営型の活動」をめざしています。みなさまのご参加をお待ちしています。

〒248-0027 鎌倉市笹田1-11-34 笹田リサイクルセンター内 ☎0467-32-9094

ホームページ：<http://www1.kamakuranet.ne.jp/recycle> 電子メール：rarara@kamakuranet.ne.jp